

平成 18 年 4 月 25 日 記者会見 会頭発言要旨

時事の話題

原油価格高騰について

先日、WTI が 1 バレル 75 ドルを突破するなど原油価格が急騰している。現在のところ、日本経済は順調に回復し、所得や雇用が増え、消費も堅調に推移しており、原油高騰の影響は最小限に留めているが、高値のまま長期化すると、メーカー各社も商品の値上げに踏切らざるを得なく、インフレを招きかねないと懸念している。

山田知事再選について

山田知事の再選を心よりお祝い申し上げます。投票率の低さに多少の心配はあったが、結果的には 5 1 4 , 8 9 3 票と倍近い票差で圧勝されたことは、安心・安全の確保や行財政改革など、1 期目の実績が府民に高く評価された結果と思う。京都経済界としても、山田府政と連携し、豊かで美しい街を創るために全面的に協力していきたい。

第 5 回日米協会国際シンポジウムについて

4 月 2 1 日と 2 2 日の両日、私が会長を務めている京都日米協会主催の「第 5 回日米協会国際シンポジウム」を開催した。米国からは全米各地の日米協会の関係者約 1 5 0 名のほか、ドノバン駐日米国公使、ラッセル総領事などの出席を頂いた。また、日本側は全国日米協会連合会の大河原会長をはじめ、山田知事、毛利副市長にも出席頂き、全体では約 4 5 0 名の参加を得た。

京都商工会議所の動き

京都創造者ハンドブック販売について

京都ブランド事業の一環として、「京都の都市格(ブランド)を考える」と題した京都創造者ハンドブックを作成した。出版の趣旨は、これからの京都を担う人たち、とくに若い世代に、京都に目覚めて頂くきっかけ作りであり、読み終わった後に、それぞれの立場で、京都について考えて欲しいと思う。発行部数は 5 千部で、京都の主要書店において 1 部千円で販売している。

小倉百人一首プロジェクト歌碑事業について

4 月 2 1 日、文化庁の審議会において、歌碑建立の計画が承認された。本事業は文化庁・京都府・京都市のご指導を得ながら進めた事業で、承認を受けた

計画は、百人一首を構成する10の勅撰和歌集のグループごとに、京都府・京都市が所有管理する公園等に歌碑を建立していくものである。歌碑を歌集ごとに配置することにより、屋外の展示・学習施設として、また、新たな観光資源として活用されることを期待している。今後は、中断していた寄付募集活動を再開し、それと同時に、建立に向けての作業を進めていく。

桜ライトアップ助成事業の開催報告について

本所と京都仏教会が助成した京都市内4ヶ所の桜ライトアップは、それぞれ多くの皆様にお越し頂き、終了した。特に、従来から助成してきた「祇園白川」には、昨年の倍近い11万5千人もの方々にお越し頂いた。

以上